

参 考 資 料

- 1 . 各地域の関連統計資料
 - 1 - 1 気象
 - 1 - 2 人口と世帯数
 - 1 - 3 産業別就業者数
 - 1 - 4 観光入域者数
 - 1 - 5 漁業生産の推移
 - 1 - 6 サンゴ分布海域の保護区
 - 1 - 7 補足情報（日本海、大東島）

- 2 . サンゴ礁の基礎知識および用語解説
 - 2 - 1 サンゴ礁の基礎知識
 - 2 - 2 サンゴ礁関連用語解説

- 3 . 第5回自然環境保全基礎調査

- 4 . スポットチェック法によるサンゴ礁調査マニュアル

- 5 . 日本産造礁サンゴ類リスト

- 6 . 国際サンゴ礁イニシアティブ関連文書

- 7 . サンゴ礁関連 国内機関

- 8 . サンゴ礁関連 国際機関

- 9 . 引用文献

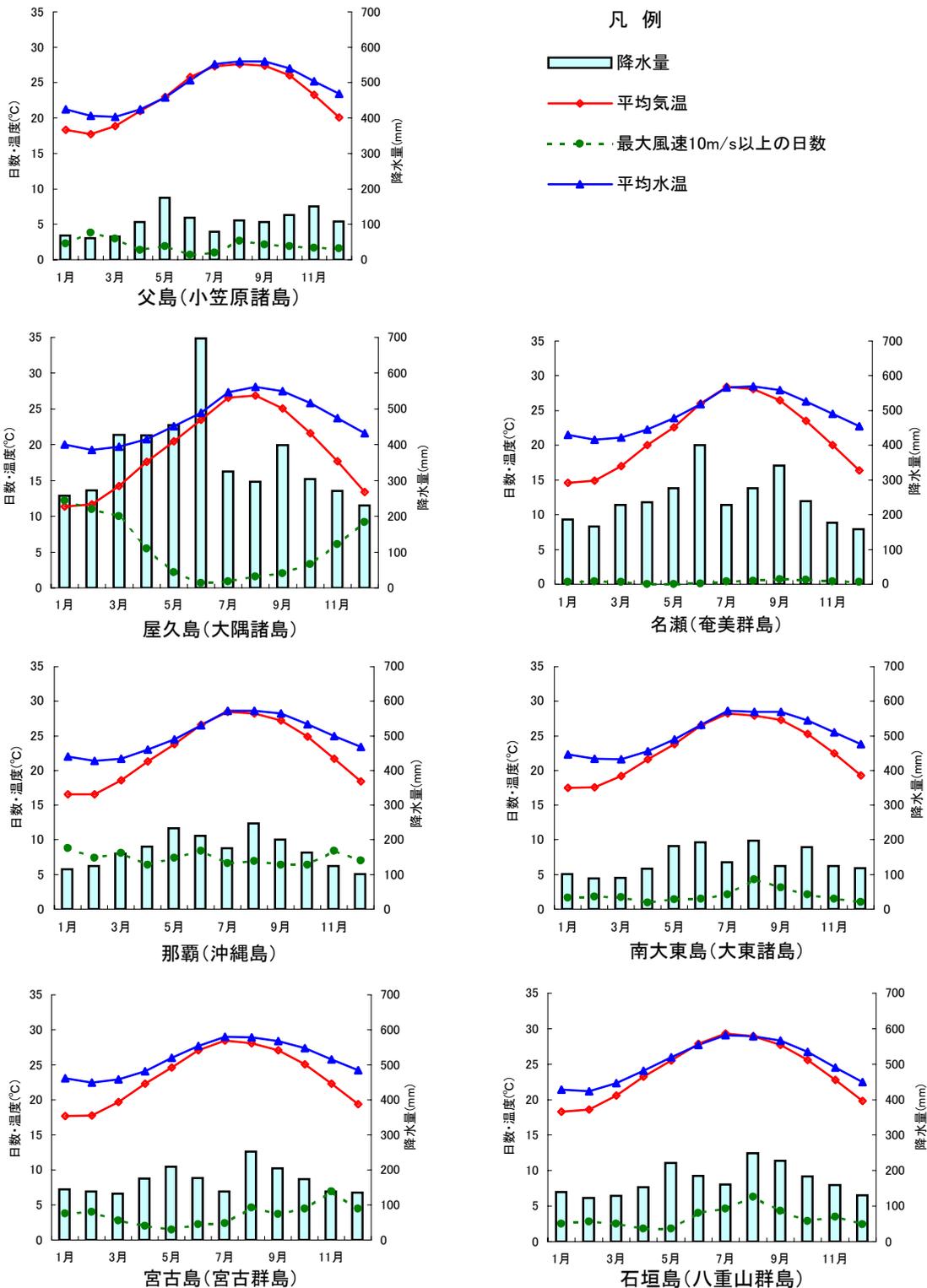
- 10 . 執筆者一覧

参考資料 1-1 気象

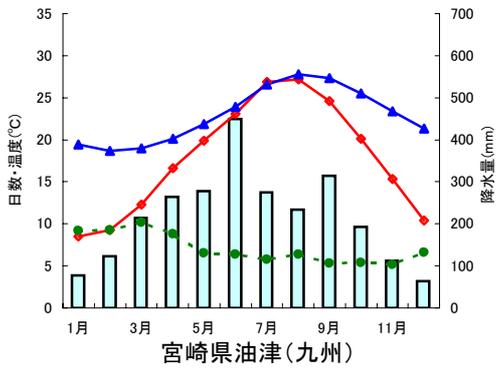
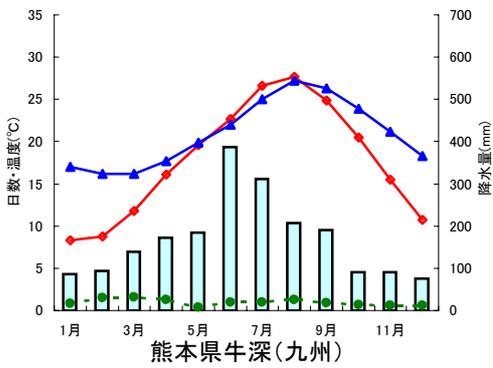
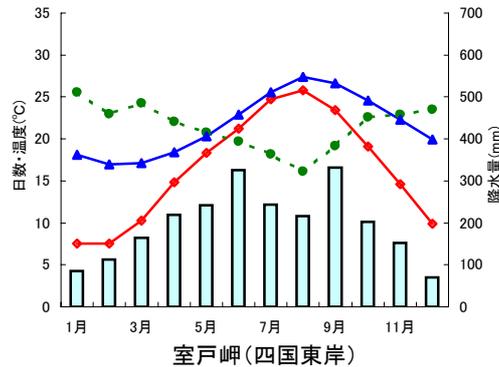
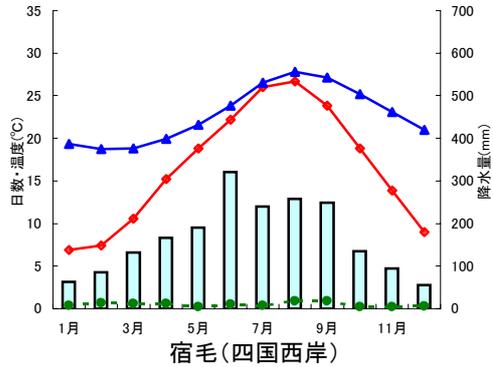
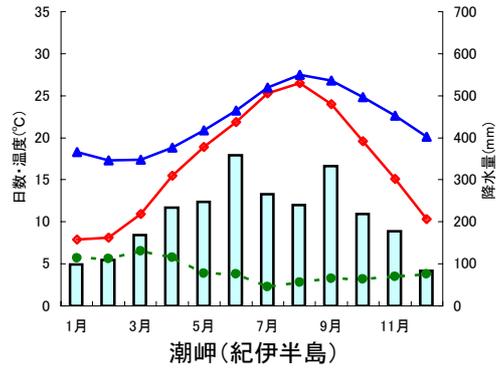
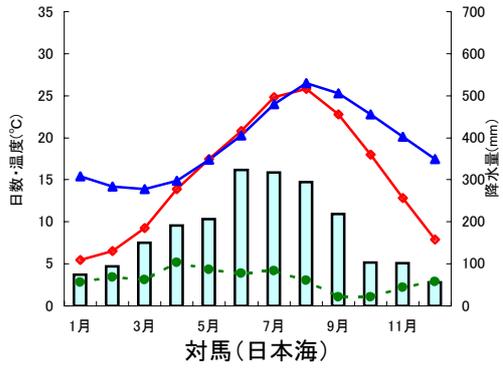
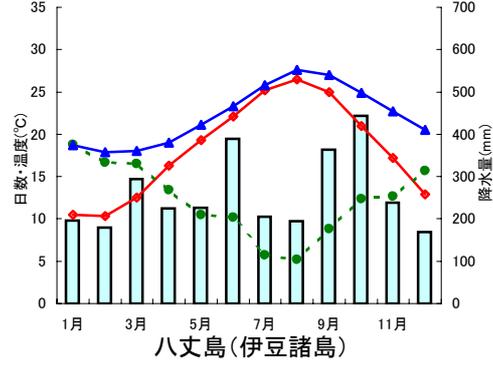
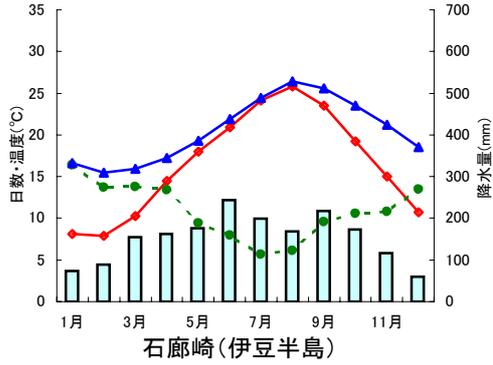
気象データ: 気象庁測候所の平年値(1971~2000年の平均値)を用いた。表示項目は月平均気温、月間降水量、最大風速10m/s以上の月間日数の3項目。

水温データ: 気象庁海況統計資料(1971~2000年)を用いた。これは、多くの観測値から、北西太平洋を一度毎に東西80点、南北80点に、統計的に解析された月平均表面水温の平年値である。これらのうち、各地区の気象庁測候所に最も近い点のデータを採用した。気象庁測候所と各点の位置は第6章の図1に示した。

主なサンゴ礁域



高緯度のサンゴ分布海域



参考資料 1⁻² 人口と世帯数

平成12年度国勢調査のデータから、サンゴが分布する市町村の人口と世帯数および産業別就業者数を集計した。

区分番号	地域区分	人口				世帯数
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	
6-1-1	小笠原諸島	384	2,210	230	2,824	1,365
6-1-2	大隅諸島・トカラ列島	8,327	29,371	13,128	50,826	21,489
6-1-3	奄美群島	23,189	74,607	34,189	132,315	52,904
6-1-4	沖縄諸島	230,114	756,612	155,173	1,151,379	389,957
6-1-5	大東諸島	417	1,386	313	2,116	1,014
6-1-6	宮古群島	10,709	33,101	11,711	55,587	20,042
6-1-7	八重山群島	10,251	30,526	7,917	48,705	18,265
6-2-1	房総半島・伊豆半島・伊豆諸島	57,558	274,520	88,308	420,443	153,675
6-2-2	日本海	47,988	193,997	86,297	328,323	115,733
6-2-3	紀伊半島	105,650	474,063	158,975	738,862	272,642
6-2-4	四国	29,858	127,841	55,421	213,132	80,956
6-2-5	九州	234,584	962,875	285,873	1,484,197	598,749
計		759,029	2,961,109	897,535	4,628,709	1,726,791

*総数には年齢不詳も含む

参考資料 1⁻³ 産業別就業者数

平成12年度国勢調査のデータから、サンゴが分布する市町村の産業別就業者数を集計した。

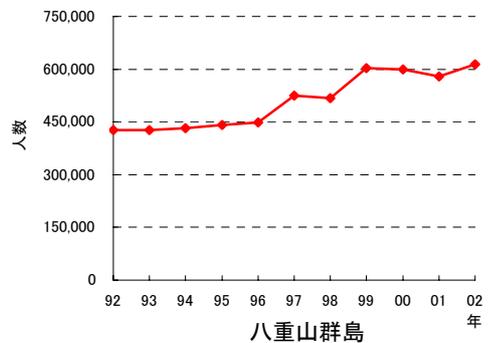
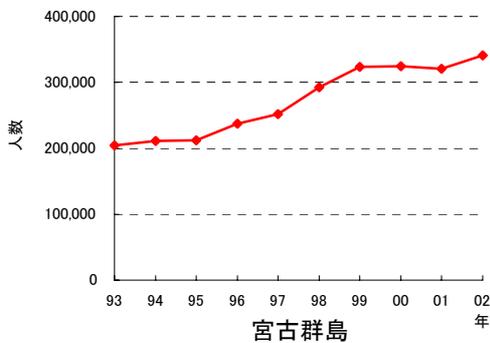
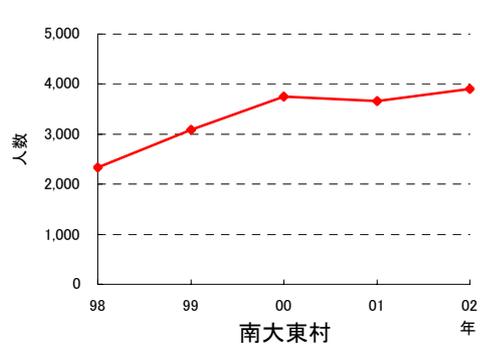
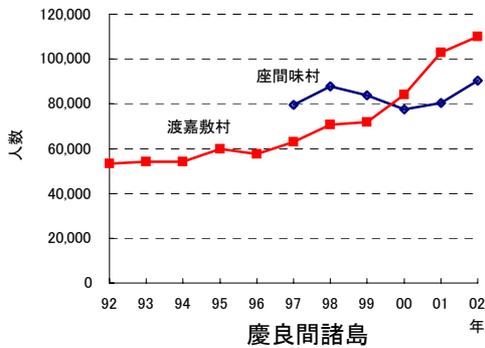
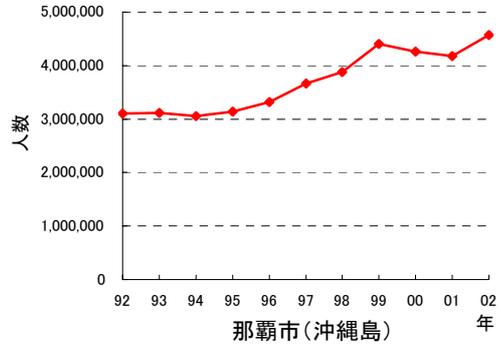
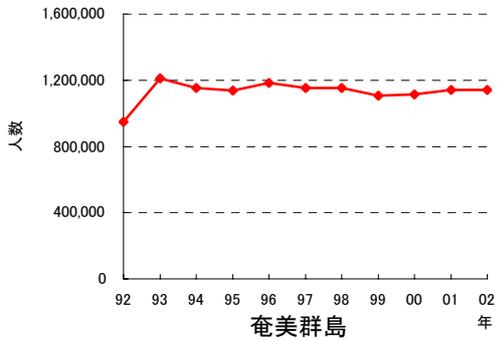
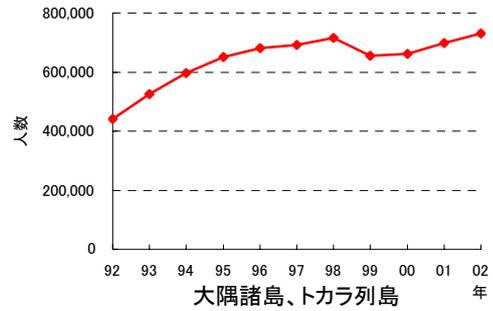
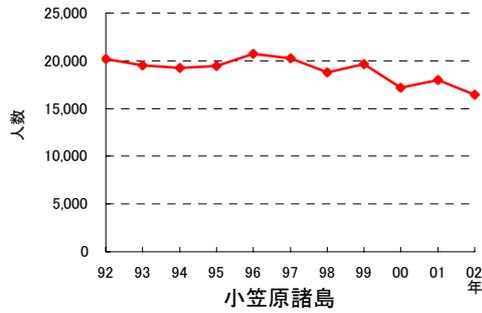
区分番号	地域区分	一次産業			二次産業		
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業
6-1-1	小笠原諸島	60	0	94	0	320	18
6-1-2	大隅諸島・トカラ列島	6,288	135	575	77	3,735	1,170
6-1-3	奄美群島	9,059	78	894	171	7,896	3,548
6-1-4	沖縄諸島	19,412	186	2,508	507	63,499	24,863
6-1-5	大東諸島	272	0	9	5	402	98
6-1-6	宮古群島	6,160	3	320	31	3,886	1,088
6-1-7	八重山群島	2,641	16	474	58	3,031	1,250
6-2-1	房総半島・伊豆半島・伊豆諸島	13,755	105	3,581	184	20,255	39,898
6-2-2	日本海	10,611	378	8,292	468	21,377	22,517
6-2-3	紀伊半島	16,878	552	7,820	220	33,820	56,738
6-2-4	四国	8,578	453	10,464	221	10,879	10,412
6-2-5	九州	37,705	895	9,586	432	72,435	77,189
計		131,419	2,801	44,617	2,374	241,535	238,789

区分番号	地域区分	三次産業							計
		電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務(他に分類されないもの)	
6-1-1	小笠原諸島	26	38	262	6	3	554	618	1,999
6-1-2	大隅諸島・トカラ列島	182	1,128	4,152	331	28	6,709	1,530	26,040
6-1-3	奄美群島	471	2,698	10,803	935	144	16,146	4,119	56,962
6-1-4	沖縄諸島	3,121	29,960	120,264	12,299	5,278	163,103	29,125	474,125
6-1-5	大東諸島	16	33	163	0	0	217	155	1,370
6-1-6	宮古群島	137	1,328	4,434	326	62	6,634	1,864	26,273
6-1-7	八重山群島	168	1,421	4,285	265	115	7,269	1,518	22,511
6-2-1	房総半島・伊豆半島・伊豆諸島	1,219	12,195	50,861	5,377	1,951	58,654	7,502	215,537
6-2-2	日本海	1,347	8,514	32,823	2,832	350	42,853	7,402	159,764
6-2-3	紀伊半島	2,686	19,348	79,671	9,116	2,686	93,359	13,583	336,477
6-2-4	四国	591	5,278	20,958	1,884	256	24,941	3,903	98,818
6-2-5	九州	3,868	40,119	173,579	21,075	5,667	214,189	30,569	687,308
計		13,832	122,060	502,255	54,446	16,540	634,628	101,888	2,107,184

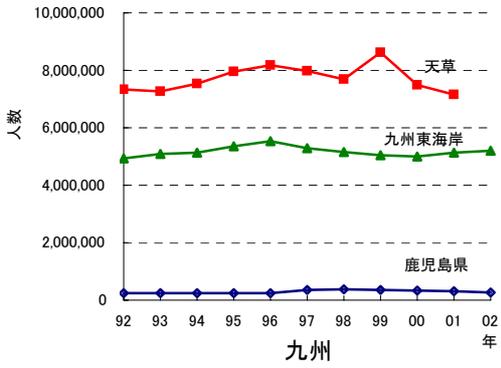
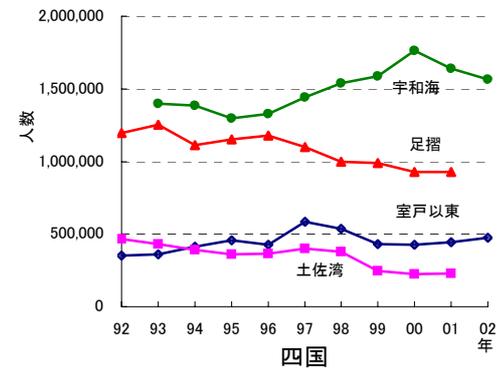
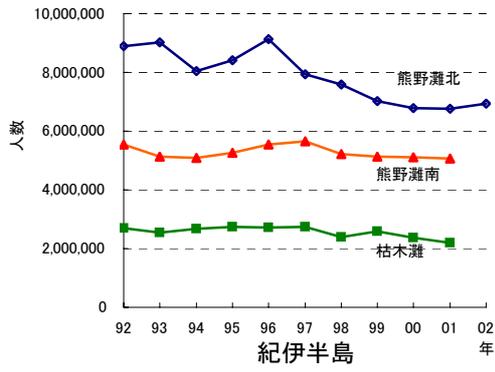
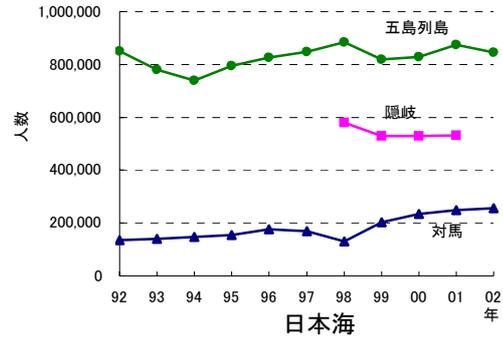
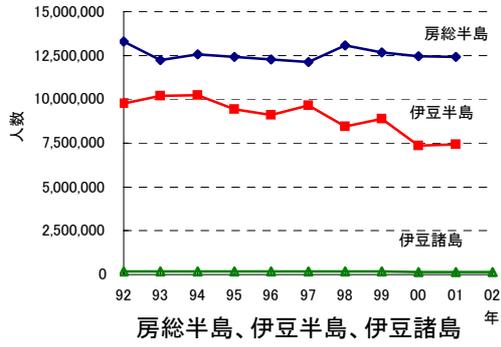
参考資料 1⁻⁴ 観光入域者数

各自治体の統計資料から、各地区でサンゴが分布する市町村への観光入域者数の推移を示す。

主なサンゴ礁域



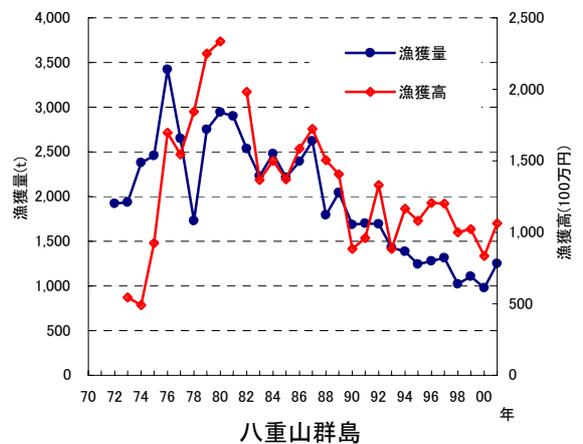
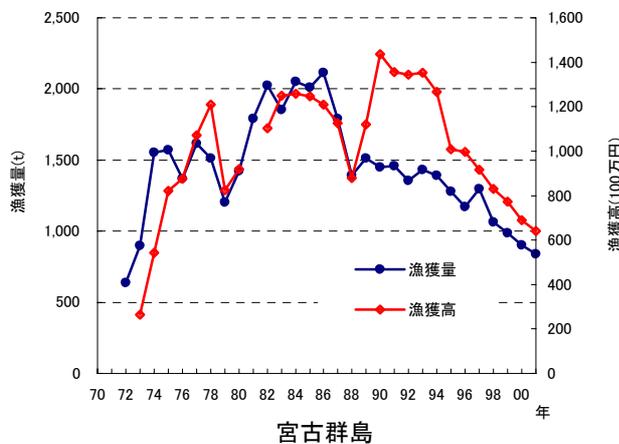
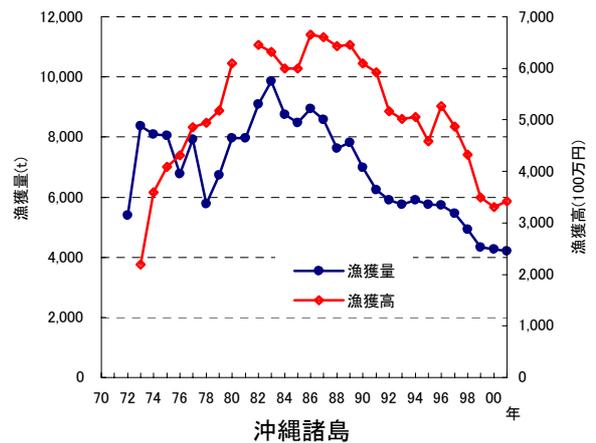
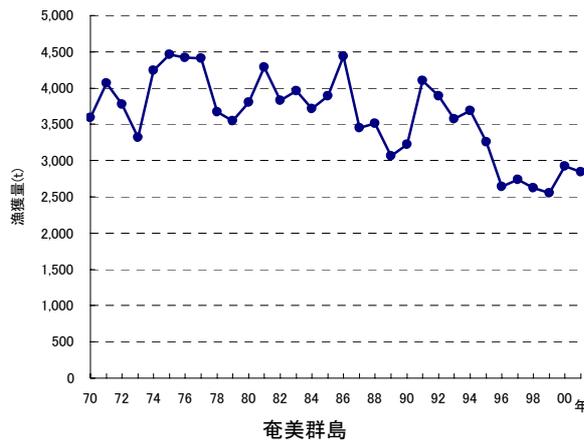
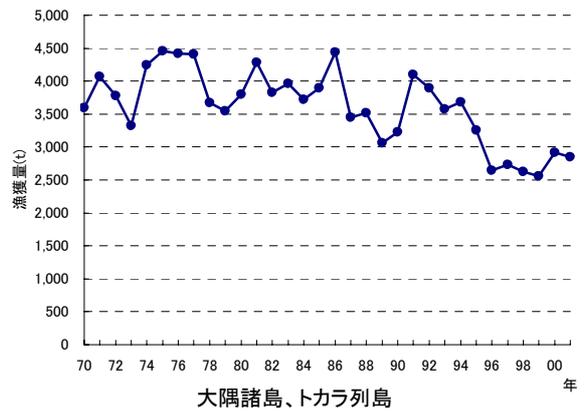
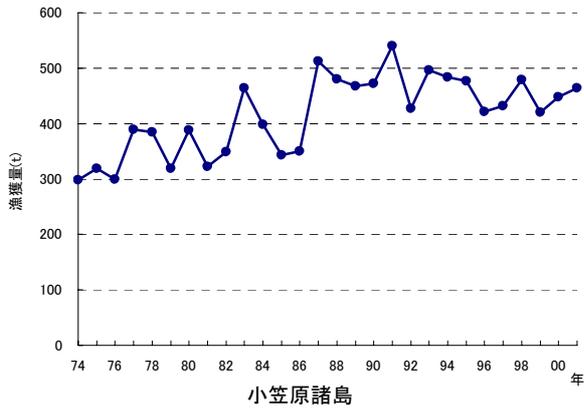
高緯度のサンゴ分布海域



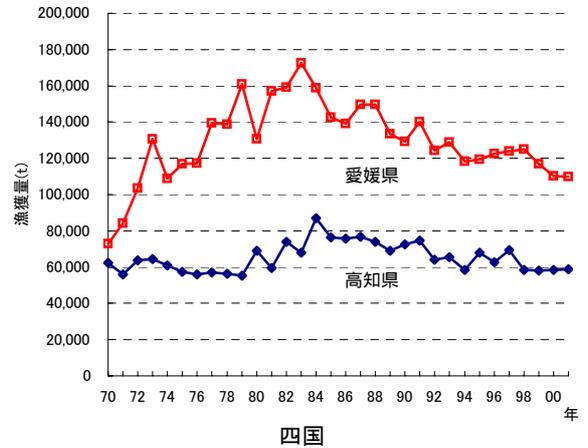
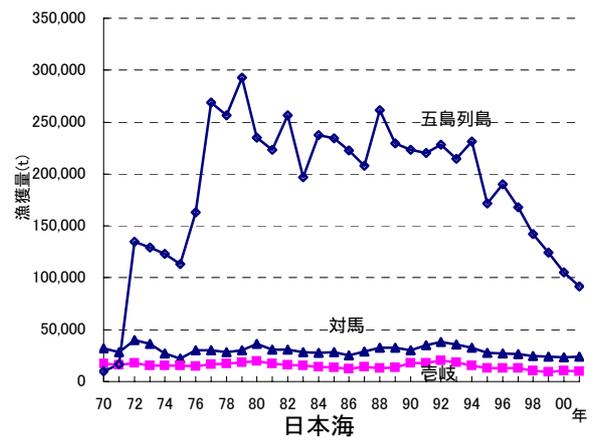
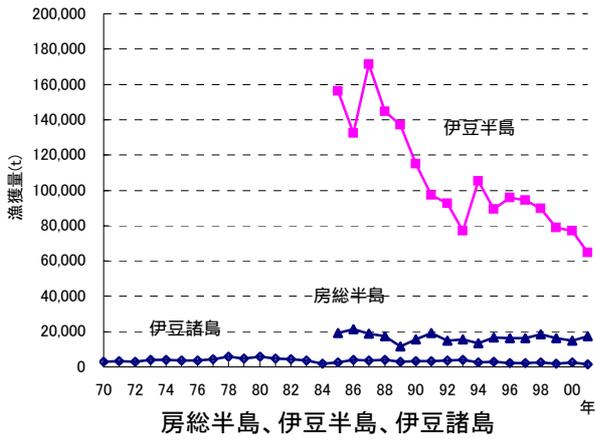
参考資料 1⁻⁵ 漁業生産の推移

農林水産省の統計情報センターおよび各自治体の統計資料から、各地域における漁獲量と漁獲高の推移を示した。なお、サンゴと直接関係する漁獲情報を抽出するため、東京都の資料は遠洋漁業を除いた情報を用い、沖縄県の資料は、以西底ひき網、遠洋マグロ延縄、近海カツオ一本釣り、沿岸マグロ延縄、沿岸カツオ一本釣り、沿岸イカ釣りの値を除いて集計した。その他の地域は漁法ごとの集計ができなかったため、全ての漁獲データが含まれている。

主なサンゴ礁域



高緯度のサンゴ分布海域



参考資料 1⁻⁶ サンゴ分布海域の保護区

海中公園地区

公園名	海中公園地区名	位置	地区(箇所)別面積(ha)	指定年月日	景観の特色*1	分類*2		
小笠原国立公園	小笠原(黒潮系)	東京都小笠原村(瓢箪島、人丸島、兄島、瀬戸、南島、御幸之浜、平島)	1号	25.0	1972.10.16	安山岩や集塊岩及び凝灰岩などからなる複雑な海底地形を有する瓢箪島、人丸島、兄島瀬戸、母島などの各地区と、石灰岩の沈水カルスト地形を有する南島地区とからなる。主として卓状サンゴなどのイシサンゴ類が景観を構成し、ナンヨウハギ、ブダイなど大型の熱帯魚が群遊している。南島はわが国唯一の沈水カルストで、海中にドリリー等があり、ナガラハナサンゴなどの生物も多い。	1	
			2号	18.0				
			3号	27.0				
			4号	11.0				
			5号	263.0				
			6号	36.0				
			7号	83.0				
合計	463.0							
富士箱根伊豆国立公園	三宅島(黒潮系)	東京都三宅村	1号	29.0	1994.11.7	黒潮の流路にあたり、暖海域と温海域の境界に位置している。ミドリイシ等からなる大規模な卓状サンゴ群集が見られる他、クマノミ、ミヤケスズメダイ、チョウチョウウオ等の磯魚も多く見られる。	2	
			2号	22.6				
			合計	51.6				
吉野熊野国立公園	熊野灘二木島(黒潮系)	三重県熊野市	1号	7.8	1975.12.19	海蝕断崖が海底壁となっており、壁面には、イソバナ、オオギウミヒドラが多数付着し、岩礁上には、エンタクミドリイシ、ピロードトゲトサカ、ノウサンゴ、キクメイシ等が発達しており、タマタダキ、ウミウチワ、アトクメ等の海藻の着生もある。魚類では、タカノハダイ、ニザダイ、チョウチョウウオ、ネンブツダイ、ウミタナゴ、ペラ等も豊富である。	2	
			2号	6.6				
			合計	14.4				
(黒潮系)	串本(黒潮系)	和歌山県西牟婁郡串本町(鏡浦)	1号地	9.6	1970.7.1	イシサンゴ類が極めて良好な生育を示し、特に名近崎附近は大規模なサンゴ群集を形成している。また筆島周辺はクシハダミドリイシを主体としてイボサンゴ、ノウサンゴ、シロサンゴ等が群生しその種類、量が極めて豊富である。そのほか、ウミトサカ類やハナヤギ等が多いとともに熱帯魚類も豊富である。	2	
			2号地	9.8				
			3号地	7.1				
			4号地	12.7				
合計	39.2							
大山隠岐国立公園	島根半島(対馬暖流系)	島根県隠岐郡大社町(日御碕足毛馬浜周辺)	7.0	1972.10.16	柱状節理の発達した石英斑岩など火成岩の岩石海岸で湾入突角の多い複雑な海岸地形を有している。海中の生物相は温帯南部に位置づけられ、ホンダワラ類が海藻林を構成し、アオサ、ミルなどが草原状をなしている。魚類としては、チャガラ、クヌバリ、ウミタナゴなどが多く、イソバナ、イボヤギ、オウギトヤギなどの無脊椎動物も豊富である。	3		
			1号	12.5			1975.12.11	
	浄土ヶ浦(対馬暖流系)	島根県隠岐郡布施村(浄土ヶ浦)	2号	8.3	ヨレモク、オオハマモク等のホンダワラ類やアラメ、エビアマモ等が景観を構成し、魚類では、スズメダイ、ウミタナゴ、メジナ等が非常に多く、インダイ等の大型のものも多く見られる。この他海中の洞窟内等では、イソバナ、イボヤギ、トゲトサカ等の腔腸動物、ウミシダ、アカウニ、カイメン等も見られる。	3		
			合計	20.8				
	代(対馬暖流系)	島根県隠岐郡五箇村(代)	14.8	1975.12.11	ヨレモクの見事な海藻林が広がり、魚類は多くないが、スズメダイ、インダイ、メジナ、ウミタナゴ、ペラ類が多く、岩陰には無脊椎動物のオオギウミヒドラ、イソバナ、サザエ、アカヒトデなどが見られる。	3		
			7.3	1975.12.11				
	国賀(対馬暖流系)	島根県隠岐郡西ノ島町	7.3	1975.12.11	岩礁部分は、アラメ、エビアマモが繁茂し、大きな転石帯にはヨレモク、オオハマモクが、小さな転石帯には、モズク、フクロノリ等の海藻が多くみられる。魚類では、メバルが多いが、メジナ、ウミタナゴ、ペラ類等もみられる。この他無脊椎動物では、モツレイソバナ、シロガヤ等の腔腸動物や、ムラサキウニ、アカウニ、アカヒトデ等の棘皮動物が見られる。	3		
			7.6	1997.9.18				
	海士(対馬暖流系)	島根県隠岐郡海士町	7.6	1997.9.18	本地区は、隠岐島(島前)の東にある松島の東岸湾内の海面に位置し、海岸部から沖合にかけては転石が堆積するなだらかな海底地形となりその外周は平坦な砂底となっている。転石帯にはアラメ、ヤツタモク、ノコギリモク等の海藻が大群落を形成しており、浅瀬ではシロガヤ、ウミウチワ、トゲトサカ等の刺胞動物やクロアワビ、サザエなどの軟体動物が高密度で生息している。また、砂底付近の転石にはニホンアブラサンゴ、アミメサンゴ、キクメイシモトキ等の造礁サンゴの分布が見られる他、インダイ、スズメダイ、オハグロペラ、メバル等	2		
			合計	36.3				
足摺宇和海国立公園	宇和海(黒潮系)	愛媛県南宇和郡西海町(鹿島、横島)	1号	12.0	1972.11.10 1970.7.1足摺国立公園時代に指定されていたもの。	色彩豊かなウミトサカ類が多く、お花畑状を呈しているのが特色であり、また、大型のイシサンゴ類が高密度に群生し、熱帯魚類が豊富であるとともに、鹿島のほら穴等の海蝕洞には、イボヤギ、イソバナ、ハナヤギが着生し、特異な景観を呈している。	2	
			2号	3.5				
			3号	0.8				
			4号	1.5				
			5号	9.0				
			6号	5.5				
	合計	32.3						
	沖ノ島(黒潮系)	高知県宿毛市(沖ノ島)	8.0	1号	8.0	1972.11.10	北上する黒潮分枝流が水道部に当り、亜熱帯海中生物がみごとに生育し、大型の卓状サンゴ類、トサカ類等が群生するほか、サンゴ礁魚類や温帯性魚類、時には大型の回遊魚類が多く、景観的にも学術的にも貴重な海中生物の宝庫をなしている。	2
				2号	8.0			
				3号	3.5			
4号				11.1				
合計	36.3							
竜串(黒潮系)	高知県土佐清水市(竜串、見残)	8.1	1号	8.1	1972.11.10 1970.7.1及び1971.1.22足摺国立公園の時足摺海中公園地区として指定されていた。	イシサンゴ類がよく生育して特異な景観を呈しているが、特に見残湾内のシコロサンゴの巨大な群集はみごとで、学術的にも価値が高い。熱帯魚類は、ソラスズメダイ、チョウチョウウオ等が豊富で、華麗な景観を呈している。	2	
			2号	5.5				
			3号	5.8				
			4号	2.5				
合計	21.9							
檜西(黒潮系)	高知県幡豆郡大月町(西泊、檜ノ浦)	6.3	1号	6.3	1972.11.10	黒潮の強い影響を受け、亜熱帯性の海中生物がよく育成し、やや内湾磯池的な環境により、各種の造礁サンゴ類が広く分布し、サンゴ礁魚類も多く、一部では海藻類を見ることができる。	2	
			2号	10.5				
合計	16.8							
勤崎	高知県幡豆郡大月町	8.3	8.3	1995.8.21	勤崎南側の入り江には、高被度の卓状イシサンゴ類が発達している他、勤崎先瑞付近の巨大な転石や岩壁の複雑な海底地形には、ウミトサカ等のソフトコーラル類が発達している。	2		
			10.4	1995.8.21				
尻貝	高知県幡豆郡大月町	10.4	10.4	1995.8.21	尻貝湾北西部の浅海には高被度の卓状イシサンゴ類が発達し、湾口の松濠周辺にはウミトサカ等のソフトコーラル類が発達している。	2		
			5.5	1972.10.16				
西海国立公園	福江(対馬暖流系)	長崎県福江市(竹の子島、屋根尾島)	1号	5.5	1972.10.16	福江港の沖合に位置する竹の子島と屋根尾島の西北海域にあたり、暖流の影響により、エダミドリイシ、カラササンゴなどのイシサンゴ類の群落とイソバナ、ウミトサカ等ソフトコーラル類、ホンダワラ、アマモなどの海藻類が混生し、ペラ類、スズメダイ類などの熱帯魚が多くみられる。	2	
			2号	5.7				
			合計	11.2				
(対馬暖流系)	若松(対馬暖流系)	長崎県南松浦郡若松町(コデ島、片瀬瀬戸、ハルノメント)	1号	4.2	1972.10.16	火山性の沈降海岸景観を有する地域で複雑な地形が内海多島の海洋環境を有している。特に片瀬瀬戸では色彩豊かなウミトサカ類が密集した大群落があり、この地区の大きな特色となっている。コデ島はハマサンゴ、ミドリイシなどのイシサンゴ類が多く、ハルノメントは壁面に着生するヤギ類などの群落がすぐれている。	2	
			2号	6.7				
			3号	8.3				
			合計	19.2				

* 1: 主として海中公園地区指定前に行われた候補地学術調査報告の結果を基に作成されたものである。

* 2: 分類、1:サンゴ礁域の保護区、2:非サンゴ礁域で造礁サンゴが分布する保護区、3:造礁サンゴが分布する可能性があるが確認されていない保護区

公園名	海中公園 地区名	位置	地区(箇所)別面積(ha)	指 年 月 日	景観の特色*	分類*2			
雲仙天草国立公園	福岡 (対馬暖流系)	熊本県 天草郡苓北町 (福岡)	1 地区 7.6 2 地区 8.6 合 計 16.2	1970.7.1	海藻類が特に多く、アヤニシキ、アントクメ、ビリヒバ、カニノテ等が密生した群落をなしており、またイシサンゴ類も多い。つつま瀨には、色彩豊かなウミトサカ類が多く熱帯魚の群遊もみられる。	2			
		熊本県 天草郡天草町 (大ヶ瀨)	5.1	1970.7.1	大ヶ瀨は大小10数個の岩礁群からなっているが、各岩礁は複雑な海底地形を形成している。イシサンゴ類や熱帯魚類が多いが、特に色あざやかなウミトサカ類とハナヤギが豊富で、すぐれた景観を呈している。	2			
雲仙天草国立公園	(対馬暖流系)	熊本県牛深市 (築ノ島、法ヶ島)	1 号 9.3 2 号 7.5 3 号 6.0 4 号 7.6 合 計 30.4	1970.7.1	ウミトサカ類の大群生が特色で、その種類、量が豊富なため華麗なお花畑状をなしている。またウミカラマツ、サンゴイソギンチャク、イソバナ、ハイウネタケの群生が特異な景観を呈しているほかイシサンゴ類や熱帯魚も豊富である。	2			
			霧島屋久国立公園	桜島 (黒潮系)	鹿児島県 鹿児島郡西桜島町 (袴腰、沖小島)	1 号 6.5 2 号 8.2 合 計 14.7	1970.7.1	袴腰は大正溶岩流により形成された起伏とも海底地形をなしており、ウミトサカ類やイシサンゴ類群生がすぐれた海中景観を呈しているとともにウミウチワの見事な海産景観もみられる。また沖小島は、サンゴイソギンチャクの大群生が特異な景観をみせている。	2
			佐多岬 (黒潮系)	鹿児島県 肝属郡佐多町	1 号 4.5 2 号 7.3 合 計 11.8	1970.7.1	イシサンゴ類の種類や量が本格的なさんご群集景観を呈しているほか、色彩豊かなイソバナ、ハナヤギ、ウミキノコ、ウミトサカ類の着生動物が群生しすぐれた海中景観をつくっている。	2	
			栗生 (黒潮系)	鹿児島県 熊毛郡屋久町 (屋久島)	1 号 84.8 2 号 15.8 3 号 13.8 合 計 114.4	2002.2.19	海中の透明度は非常に高く、高い種多様性をもつ魚類および造礁サンゴ群集からなる海中景観は極めて優れている。総じて、南日本型の暖温帯種と琉球列島産型の亜熱帯種が共存する特異な生物相をもっている。八重山諸島や東南アジア島嶼海域を分布の中心とする熱帯種も出現していることから、強い黒潮の影響下にあることが示唆される。	2	
西表国立公園	竹富島 タキドングチ (黒潮系)	沖縄県 八重山郡竹富町	36.7	1977.7.1	外礁性の強い裾礁の海中景観を有し、礁面は浅く、卓状や枝状のサンゴが密生し、ミドリイシ、ハマサンゴ、キクメイシ、トゲサンゴ類などのイシサンゴ類やウミトサカ類及びスズメダイ科、チョウチョウウオ科、ペラ科などのサンゴ礁特有の魚類が豊富である。	1			
			竹富島 シモビシ (黒潮系)	沖縄県 八重山郡竹富町	83.1	1977.7.1	外礁性の強い準堡礁の海中景観を有し、礁面は浅く、卓状や枝状のサンゴが大規模に群生し、ミドリイシ、キクメイシ、ハマサンゴ類などのイシサンゴ類やチョウチョウウオ科、スズメダイ科、ニザダイ科などのサンゴ礁特有の魚類が豊富である。	1	
			黒島キャングチ (黒潮系)	沖縄県 八重山郡竹富町	45.5	1977.7.1	大型の枝状サンゴがつくる礁池内の海中景観を有し、礁池は水深2~7mで鹿角状ミドリイシが大規模な樹林をつくり、スズメダイ科、チョウチョウウオ科の魚類も豊富である。	1	
			新城島 マイビシ (黒潮系)	沖縄県 八重山郡竹富町	48.2	1977.7.1	大型の卓状サンゴがつくる海中景観を有し、水深は1~3mで大型のクシハダミドリイシが優占し、枝状のサンゴやウミトサカ類も群生する。スズメダイ科、ペラ科の魚類やオオイソバナ、ウミシダの類も多い。	1	
			南房総国立公園	勝浦 (黒潮系)	千葉県勝浦市	14.5	1974.6.7	海藻は、温海的要素を多分に持ちながら寒海型への移行を示しており、カジメ、アラメの群叢、オオハコギリモク、ホンダワラ、ジロモク等のホンダワラ類、オオシロコ群叢などが海中景観を構成しており、魚類は、ニザダイ、フダダイ、メジナ、ペラ類などが多くチョウチョウウオ類、スズメダイ類も見られる。無脊椎動物では、ストロベリーサンゴ、オオギクミヒドラ、センナリウミヒドラやイソバナ、アマガキ等が美しい景観をつくっている。	3
室戸阿南海岸国立公園	阿波大島 (黒潮系)	徳島県 海部郡牟岐町 (大島、津島)	1 号 9.5 2 号 4.0 3 号 2.0 合 計 15.5	1971.1.22	砂岩質の海底一面が付着物に覆われている。ウミウチワなどの海藻のほか、造礁サンゴではミドリイシ、ハマサンゴ、ナガレサンゴ、キクメイシ、スリバナサンゴ類などが観察される。サンゴイソギンチャクが大群落をなしていることが特色である。クマノミ、ソラスズメダイ、チョウチョウウオなどの熱帯魚も多い。	2			
			阿波竹が島 (黒潮系)	徳島県 海部郡穴喰町 (竹が島)	1 号 5.3 2 号 4.6 合 計 9.9	1972.10.16	砂岩質の比較的浅い海底地形をなしたミドリイシ類、シロコサンゴ、キクメイシなどが群落を構成している。ソラスズメダイ、オヤビツチャ、チョウチョウウオなどの熱帯魚が生息し、透明な海に彩りをそえている。	2	
			玄海国立公園	玄海 (対馬暖流系)	佐賀県唐津市 (神楽島、七ツ釜) 東松浦郡呼子町 (鷹島、臼島) 東松浦郡鎮西町 (波戸岬)	1 号 6.0 2 号 12.4 3 号 9.6 4 号 10.5 5 号 7.0 合 計 45.5	1970.7.1	リアス式海岸に点在する玄武岩の柱状節理の海蝕洞、海産物と暖帯温帯区にまたがる豊富な生物相が特色である。海藻の海中林とほぼ北限に近いイシサンゴ類からなる景観が特にすぐれている。	2
宍岐対馬国立公園	宍岐辰ノ島 (対馬暖流系)	長崎県 宍岐郡勝本町 (辰ノ島)	8.6	1978.6.16	海底は平坦な岩盤が段丘状に数10mにわたって張り出しており、アラメ、カジメ、ホンダワラ等が叢生している。魚類としては、ペラ類が多く、またハマサンゴ、カメノクキクメイシ等のサンゴ類も分布している。外海に面しているため海水も清澄であり、陸上の自然環境ともあいまって、まとまりのある地区を形成している。	2			
			宍岐手長島 (対馬暖流系)	長崎県 宍岐郡勝本町 (手長島)	9.7	1978.6.16	本地区には、アラメ、カジメ、オオバモク、ノコギリモク、アカモク等の大型褐藻からなる海中林がよく発達している。このほかヤギ類、ウミウチワ類も多く着生しており、多彩な海中景観を形成している。サンゴ類としてアワサンゴ、ハマサンゴ、キクメイシ等が見られ、魚類としては、ペラ類が多く、ソラスズメダイ、メジナ、ニザダイ、イシダイ等も多く見られる。	2	
			宍岐妻ヶ島 (対馬暖流系)	長崎県 宍岐郡石田町 (妻ヶ島)	9.3	1978.6.16	海底の地形は垂直に急に深く切り立っており、この岸壁にオオイボヤギ、イボヤギ、ジュウジキサンゴ、イソバナ等がうっそうと茂っており、さらに深くなるとウミトサカの大群集が見られる。魚類も多く、ペラ類、スズメダイ、イサキ、ネンブツダイ、マダイ、キンチャクダイ等のほか、キス類も多数生息している。なおサンゴ類としては、ヤスリサンゴ、ソフトコーラル等が分布している。	2	
			対馬浅茅湾 (対馬暖流系)	長崎県 下県郡美津島町 (馬肥島)	9.5	1978.6.16	本地区は浅茅湾の海中景観を代表するものであり、ミルの団塊状群落とエダミドリイシ等からなるサンゴ群集が特徴的である。また、島の北側海底には、サンゴイソギンチャクの大群集も見られる。魚類としては、ソラスズメダイ、ホンペラ、クロホシイシモチ、コウライトラギス、キビナゴ、スズメダイ等が多く生息している。	2	
			対馬神崎 (対馬暖流系)	長崎県 下県郡厳原町 (神崎)	10.4	1978.6.16	海底の地形は変化に富み、立体的景観を見せている。海藻としてはカジメ、ホンダワラ、アラメが優先しており、イソバナ、ハナヤギ類、オトゲトサカ、トゲトサカ類、ウミヒノキ、イボヤギ、アワサンゴ、イソギンチャク等の腔腸動物、ウニ類、ガンガゼ、オオウミシダ、ヒトデ等の棘皮動物、魚類としては、スズメダイ、ソラスズメダイ、ハタンボ、メジナ、ペラ等が見られ、質、量ともに豊富である。	2	

*1: 主として海中公園地区指定前に行われた候補地学術調査報告の結果を基に作成されたものである。

*2: 分類、1:サンゴ礁域の保護区、2:非サンゴ礁域で造礁サンゴが分布する保護区、3:造礁サンゴが分布する可能性があるが確認されていない保護区

公園名	海中公園 地区名	位置	地区(箇所)別面積(ha)	指 定 日 年 月 日	景観の特色*	分類*2	
日豊海岸国定公園	蒲江 (黒潮系)	大分県 南海部郡蒲江町 (深島、屋形島)	1号	10.0	1974. 2.15	卓状サンゴ、シコロサンゴ、ミドリイシ類、ウミトサカ類等が広範囲かつ大規模によく生息している。またその間にはチョウチョウウオ、ペラ、スズメダイ、クマノミ等の熱帯性魚類が多く、海中景観は傑出している。	2
			2号	10.0			
			3号	6.3			
			4号	7.2			
			合計	33.5			
	南北浦 (黒潮系)	宮崎県延岡市 東臼杵郡北浦町 (北浦)	1号	13.5	1974. 2.15	大型卓状サンゴ、キクメイシ、ミドリイシ類、イバラカンザシ、トゲトサカ等が広範囲かつ大規模によく生育しており、その間には、チョウチョウウオ、ペラ、スズメダイ、クマノミ等の熱帯魚等が多くみられる。	2
2号	4.0	1993. 1.27					
3号	3.4	1カ所追加					
4号	2.5	2カ所拡張					
5号	10.5						
6号	14.8						
合計	48.7						
日南海岸国定公園	日南 (黒潮系)	宮崎県日南市 串間市 南那珂郡南郷町 (木場島、大島、小夫婦浦)	1号	7.3	1970. 7. 1	起伏にともなう岩礁地帯にウミトサカ類、ハナヤギ、イソバナが群生して華麗なる景観を呈している。小夫婦浦は、湾内一面に大型の卓状サンゴが高密度に被覆して層状をなし、また、コバルトスズメダイ、トゲトサカ類、ペラ類等の熱帯魚類が群遊して変化のある景観を呈している。	2
			2号	11.3			
			3号	8.0			
			4号	10.4			
			5号	12.6			
			6号	6.3			
合計	55.9						
奄美群島国定公園	笠半島東海岸 (黒潮系)	鹿児島県 大島郡笠利町	93.0		1974. 2.15	外礁をもって礁池をなし、枝状ミドリイシ、枝状ハマサンゴ、ショウガサンゴ、枝状コモンサンゴや、塊状ハマサンゴが多く、ハナヤギサンゴ、葉状コモンサンゴ等も見られる。魚類は、チョウチョウウオ、ペラ、キイロハギ、テングハギ等色彩に富み、彩やかな景観をなしている。	1
			70.0		1974. 2.15		
	摺子崎 (黒潮系)	鹿児島県名瀬市	70.0		1974. 2.15	ミドリイシ類等のサンゴやホンダワラ等の海藻の中をチョウチョウウオ類等の魚類の泳ぐ景観が見られる。	1
	瀬戸内 (黒潮系)	鹿児島県 大島郡瀬戸内町 (加計呂麻島)	1号	18.0	1974. 2.15	岩礁が砂底にのぞんでいて立体的にサンゴが着生しており、外海性から内海性へサンゴを中心とする動物相の変化もみられる。ハナヤギサンゴ、板状ミドリイシ、ノウサンゴ、キクメイシ、ウスコモンサンゴ、塊状ハマサンゴ、枝状コモンサンゴがみられ、魚類はチョウチョウウオ、スズメダイ、ホンソメワケペラ、ニジハギ等も豊富にみられる。	1
			2号	22.0			
	3号	18.0					
合計	58.0						
亀徳 (黒潮系)	鹿児島県 大島郡徳之島町 (徳之島)	70.0		1974. 2.15	ミドリイシ、キクメイシ、ハナガササンゴ、ノウサンゴ、キッカサンゴ類等が豊富にみられ、サザナミヤッコ、トゲトサカ類、クマノミ等の魚類も豊富である。	1	
与論島 (黒潮系)	鹿児島県 大島郡与論町 (赤崎、古崎ミナタ)	1号	93.0	1974. 2.15	礁池のサンゴ景観を呈し、枝状ミドリイシ、板状ミドリイシ、ハマサンゴ、ショウガサンゴ、コモンサンゴ、キクメイシ等種類も多く、魚類はチョウチョウウオ、ハタタテダイ、サザナミヤッコ、クマノミ、ロクセスズメダイやニザダイ類、モンガラカワハギ類、ペラ類、ブダイ類等、色あざやかなものが、種類、数ともに多くみられる。	1	
2号	4.0						
3号	58.0						
合計	155.0						
沖縄海岸国定公園	沖縄海岸 (黒潮系)	沖縄県名護市 国頭郡恩納村 (ぶしな ぶしな 郡瀬名岬、恩納海岸)	140.0		1972. 5.15	礁池の発達した典型的なサンゴ礁海岸、礁池内は浅く波もおだやかなので、枝状ミドリイシやチョウチョウウオ類、スズメダイ類など、繊細な海中景観を呈し、礁縁付近は卓状サンゴやブダイ類などの大型の熱帯魚が遊泳する豪快な海中景観を有している。	1
			120.0		1978.12. 9		
	渡嘉敷 (黒潮系)	沖縄県島尻郡渡嘉敷 (渡嘉敷及び阿波連)	233.0		1978.12. 9	海中には、卓状、枝状、角状、塊状、被覆状等の造礁サンゴが密度高く分布しており、また、スズメダイ科、チョウチョウウオ科、ペラ科等の色彩豊かなサンゴ礁特有の魚類が豊富に生息している。	1
座間味 (黒潮系)	沖縄県島尻郡座間味 (阿嘉、阿真及び座間)	233.0		1978.12. 9	同上、また、大型のイトマキエイも見られる等、特色ある海中景観を呈している。	1	
分類1計		13地区	23カ所	1615.5ha			
分類2計		29地区	78カ所	718.3ha			
分類3計		5地区	6カ所	64.4ha			
総計		47地区	107カ所	2398.2ha			

その他の保護区

保護区名	地区名	位置	地区面積(ha)	指定年月日	特色	分類*2	
自然環境保全地域 海中特別地区	崎山湾	沖縄県八重山郡竹富町宇崎山	128.0		1983. 6.28	自然環境保全地域は、自然公園以外の区域で、自然的社会的諸条件からみて自然環境を保全することが特に必要なものを対象とする。この海中特別地区には、巨大なアザミサンゴ群体を中心とする多様なサンゴ、湾奥部にはウミシヨブを主とする海草群落が分布する。	1
			22.7		1979. 8.22	全ての水産動植物の採捕が禁止されている。	2
水産資源保護法に基づく 保護水面	牛深市黒島地先	牛深市深海町宇二俣	32.0		1980. 7. 7	ワカメとヒトエグサを除く、全ての水産動植物の採捕が禁止されている。	2
			275.0		1974. 9.26	クロチョウガイ、シヤコガイ、ゴシキエビ、ニシキエビ、フトミソエビ、シラヒゲウニおよびカタメンキリンサイの採捕が禁止されている。	
	石垣市川平湾	石垣市宇川平大兼久	68.0		1975. 9. 1	全ての水産動植物の採捕が禁止されている。	1

* 1: 主として海中公園地区指定前に行われた候補地学術調査報告の結果を基に作成されたものである。

* 2: 分類、1:サンゴ礁域の保護区、2:非サンゴ礁域で造礁サンゴが分布する保護区、3:造礁サンゴが分布する可能性があるが確認されていない保護区

参考資料 1⁻⁷ 補足情報(6-1-5 大東諸島)

付表1. 南北大東島の6調査地点(水深10~20m)における造礁サンゴの出現種(2001年10月2~4日)

科	和名	学名
ハナヤサイサンゴ科	ハラジカハナヤサイサンゴ	<i>Pocillopora eudoxii</i>
	シヨウガサンゴ	<i>Stylophora pistillata</i>
ミドリイシ科	ウネコモンサンゴ	<i>Montipora undata</i>
	イボコモンサンゴ	<i>Montipora verrucosa</i>
	オヤユビミドリイシ	<i>Acropora gemmifera</i>
	リスターミドリイシ	<i>Acropora listeri</i>
	サボテンミドリイシ	<i>Acropora florida</i>
	アナサンゴ	<i>Astreopora myriophthalma</i>
	センベイアナサンゴ	<i>Astreopora gracilis</i>
	ハマサンゴ科	オオハマサンゴ
	コブハマサンゴ	<i>Porites lutea</i>
	フカアナハマサンゴ	<i>Porites lobata</i>
	イワハマサンゴ	<i>Porites annea</i>
	ユビエダハマサンゴ	<i>Porites cylindrica</i>
	ベニハマサンゴ	<i>Porites lichen</i>
	バラオハマサンゴ	<i>Porites rus</i>
	ハナガササンゴ	<i>Goniopora lobata</i>
	マルアナハナガササンゴ	<i>Goniopora tenuidens</i>
ヤスリサンゴ科	ベルベツトサンゴ	<i>Psammocora superficialis</i>
ヒラフキサンゴ科	ヒラフキサンゴ	<i>Gardineroseris planulata</i>
	ハマシコロサンゴ	<i>Pavona duerdeni</i>
	シワシコロサンゴ	<i>Pavona varians</i>
	シワリュウモンサンゴ	<i>Pachyseris rugosa</i>
	センベイサンゴ属の一種	<i>Leptoseris</i> sp.
ピウガラシ科	アザミサンゴ	<i>Galaxea fascicularis</i>
ウミバラ科	キツカサンゴ	<i>Echinophyllia aspera</i>
	アハレキツカサンゴ	<i>Echinophyllia orpheensis</i>
	レーズウミバラ	<i>Pectinia paeonia</i>
	スジウミバラ	<i>Pectinia lactuca</i>
オオトゲサンゴ科	ヒメオオトゲキクメイシ	<i>Acanthastrea echinata</i>
	インガキオオトゲキクメイシ	<i>Acanthastrea ishigakiensis</i>
	マルハナガタサンゴ	<i>Lobophyllia corymbosa</i>
	ホリダイノウサンゴ	<i>Symphyllia recta</i>
	ダイノウサンゴ	<i>Symphyllia radians</i>
	ヒロクチダイノウサンゴ	<i>Symphyllia agaricia</i>
サザナミサンゴ科	リュウキュウイボサンゴ	<i>Hydnophora microconos</i>
	サザナミサンゴ	<i>Merulina ampliata</i>
	オオサザナミサンゴ	<i>Scapophyllia cylindrica</i>
	キクメイシ科	ネジレタハネサンゴ
	ホシキクメイシ	<i>Favia stelligera</i>
	ウスチャキクメイシ	<i>Favia pallida</i>
	スボミキクメイシ	<i>Favia fавus</i>
	バラバツトサンゴ	<i>Barabattolia amicorum</i>
	カメノコキクメイシ	<i>Favites abdita</i>
	マルカメノコキクメイシ	<i>Favites halicora</i>
	ゴカクキクメイシ	<i>Favites pentagona</i>
	コカメノコキクメイシ	<i>Goniastrea retiformis</i>
	ヒラカメノコキクメイシ	<i>Goniastrea edwardsi</i>
	ヒメウネカメノコキクメイシ	<i>Goniastrea favulus</i>
	ナガレサンゴ	<i>Leptoria phrygia</i>
	ミダレナガレサンゴ	<i>Leptoria irregularis</i>
	オオナガレサンゴ	<i>Oulophyllia crispera</i>
	ルリサンゴ	<i>Leptastrea purpurea</i>
	トゲルリサンゴ	<i>Leptastrea pruinosa</i>
	マルキクメイシ	<i>Montastrea curta</i>
	ルリマルキクメイシ	<i>Montastrea annuligera</i>
	アラトゲキクメイシ	<i>Cyphastrea agassizi</i>
	トゲキクメイシ	<i>Cyphastrea microphthalma</i>
	フカトゲキクメイシ	<i>Cyphastrea serailia</i>
	ニホントゲキクメイシ	<i>Cyphastrea japonica</i>
キサンゴ科	スリバチサンゴ	<i>Turbinaria mesenterina</i>
アナサンゴモドキ科	カンボクアナサンゴモドキ	<i>Milipora exaesa</i>

計 62種

付表2. 南北大東島の6調査地点における魚類出現種(2001年10月2~4日)

調査日	調査地点	水深(m)	和名	学名	同定方法	
10月2日	St.3 南大東島	40	ユウゼン	<i>Chaetodon daedalma</i>	*1	
		40	ニラミハナダイ	<i>Pseudanthias ventralis</i>	*1	
		40	キツネベラ	<i>Bodianus bilunulatus</i>	*1	
		40	イシフエダイ	<i>Aphareus rutilans</i>	*2	
		20	オニカマス	<i>Sphyaera barracuda</i>	*2	
		20	ナメモンガラ	<i>Xanthichthys mento</i>	*1	
		15	イソモンガラ	<i>Pseudobalistes fuscus</i>	*2	
		St.4 南大東島	20	コガネヤッコ	<i>Centropyge flavissima</i>	*1
			20	レンテンヤッコ	<i>Centropyge interrupta</i>	*1
			15	メジロザメの仲間(全長2m)	<i>Carcharhinus</i> sp.	*2
			15	クロメジナ	<i>Girella leonina</i>	*1
			15	コガネヤッコ	<i>Centropyge flavissima</i>	*1
			15	ユウゼン	<i>Chaetodon daedalma</i>	*1
			15	ヘラルドコガネヤッコ	<i>Centropyge heraldi</i>	*1
			10月3日	St.5 南大東島	35	ニセモチノウオの仲間
25	カシミチョウチョウウオ				<i>Hamitaurichthys polylepis</i>	*2
25	ウミロモドキ				<i>Caesio teres</i>	*2
25	トンブソソバタフライフィッシュ				<i>Hamitaurichthys thompsoni</i>	*1
25	ユウゼン				<i>Chaetodon daedalma</i>	*1
25	ヒレナガヤッコ				<i>Genivanthus watanabei</i>	*2
20	イッテンチョウチョウウオ				<i>Chaetodon unimaculatus</i>	*1
20	タテスジハタ				<i>Gracila albomarginata</i>	*2
20	ホホスジタルミ	<i>Macolor macularis</i>			*2	
20	オハグロハギ	<i>Acanthurus thompsoni</i>			*1	
20	ヤマシロベラ	<i>Pseudocoris yamashiroi</i>			*1	
15	ヤミスズキの幼魚	<i>Belonoperca chabanaudi</i>			*1	
10	クロモンガラ	<i>Melichthys vidua</i>			*1	
10	メガネハギ	<i>Sufflamen fraenatum</i>			*1	
10	ベニゴンベ	<i>Neocirrhites armatus</i>			*1	
10	ユウゼン	<i>Chaetodon daedalma</i>	*1			
St.6 南大東島	30	ホシモンガラ	<i>Xanthichthys auromarginatus</i>	*1		
	15	シチセンチョウチョウウオ	<i>Chaetodon punctatofasciatus</i>	*1		
	15	マルクチヒメジの幼魚	<i>Parupeneus cyclostomus</i>	*2		
	15	キツネベラ(小笠原型)	<i>Bodianus bilunulatus</i> (var.)	*1		
	15	キツネベラ	<i>Bodianus bilunulatus</i>	*1		
	15	ウメイロモドキ(小笠原型)	<i>Caesio teres</i> (var.)	*1		
	15	クラカケエビス	<i>Sargoxentron caudimaculatum</i>	*1		
	15	ハコベラ	<i>Thalassoma quinquevittatum</i>	*1		
	10	イワサキスズメダイ	<i>Plectroglyphidodon imparipennis</i>	*1		
	10	ハクテンカタギ	<i>Chaetodon reticulatus</i>	*1		
	10	カンフハナダイ	<i>Pseudanthias cooperi</i>	*2		
	10	ナミダクロハギ	<i>Acanthurus japonicus</i>	*1		
	10月4日	St.1 北大東島	25	トンブソソバタフライフィッシュ	<i>Hamitaurichthys thompsoni</i>	*1
			25	カシミチョウチョウウオ	<i>Hamitaurichthys polylepis</i>	*2
			25	ウメイロモドキ	<i>Caesio teres</i>	*2
25			タテスジハタ	<i>Gracila albomarginata</i>	*1	
20			アオスジモンガラ	<i>Xanthichthys caeruleolineatus</i>	*1	
20			キイロハギ	<i>Zebbrasoma flavescens</i>	*1	
20			ヒオドシベラ	<i>Bodianus anthioides</i>	*1	
20			クラカケエビス	<i>Sargoxentron caudimaculatum</i>	*1	
20			ナミダクロハギ	<i>Acanthurus japonicus</i>	*1	
15			ベニゴンベ	<i>Neocirrhites armatus</i>	*2	
10			ゼブラハゼ	<i>Ptereleotris zebra</i>	*1	
10			シテンチョウチョウウオ	<i>Chaetodon quadrimaculatus</i>	*2	
10			ユウゼン	<i>Chaetodon daedalma</i>	*1	
10			ヤマブキベラ	<i>Thalassoma lutescens</i>	*1	
St.2 北大東島			22	イシフエダイ	<i>Aphareus furca</i>	*1
	20	クマザサハナムロ	<i>Pterocaesio tile</i>	*2		
	20	ノコギリダイ	<i>Gnathodentex aureolineatus</i>	*1		
	20	シチセンチョウチョウウオ	<i>Chaetodon punctatofasciatus</i>	*1		
	20	ホシモンガラ	<i>Xanthichthys auromarginatus</i>	*2		
	20	インガキハタ	<i>Epinephelus hexagonatus</i>	*1		
	20	キイロハギ	<i>Zebbrasoma flavescens</i>	*1		
	20	クログチニザ	<i>Acanthurus pyroferus</i>	*1		
	20	コガネヤッコ	<i>Centropyge flavissima</i>	*1		
	20	ゴマハギ	<i>Zebbrasoma scopas</i>	*1		
	20	トサカハギ	<i>Naso tuberosus</i>	*1		
	20	ミソレフグ	<i>Arothron meleagris</i>	*1		
	20	タテジマキンチャクダイ	<i>Pomacanthus imperator</i>	*1		
	20	ナンヨウブダイ	<i>Chlorurus microrhinos</i>	*2		
	10	ヒメスズメダイ	<i>Chromis vanderbilti</i>	*1		
10	シテンチョウチョウウオ	<i>Chaetodon quadrimaculatus</i>	*1			
10	ヒレグロスズメダイ	<i>Chromis atripes</i>	*1			
10	ベニゴンベ	<i>Neocirrhites armatus</i>	*1			
10	ニラミカサゴ	<i>Sebastapistes mauritiana</i>	*1			
10	ヒメスズメダイ	<i>Chromis vanderbilti</i>	*2			
10	ユウゼン	<i>Chaetodon daedalma</i>	*1			
10	チョウチョウウオ	<i>Chaetodon auripes</i>	*1			
10	チョウハン	<i>Chaetodon lunula</i>	*1			
10	ゴマハギ	<i>Zebbrasoma scopas</i>	*1			
10	フタスジヒメジ(小笠原型)	<i>Parupeneus bifasciatus</i> (var.)	*1			

*1: 写真による同定 *2: 直接観察による同定

参考資料 1⁻⁷ 補足情報(6-2-2 日本海)

付表3. 宍岐島黒崎のサンゴ礁における造礁サンゴの被覆率

岸からの距離 (m)	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
水深 (m)	-0.4	0.5	0.7	1.7	2.3	2.4	2.3	1.5	1.7	2.7	4.8
<i>Lithophyllon undulatum</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	5.8	13.3	22.8
<i>Echinophyllia aspera</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	8.8
<i>Echinophyllia echinata</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	6.7	31.5	29.5
<i>Hydnophora exesa</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
<i>Caulastrea tumida</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.0	0.0
<i>Favia speciosa</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.8	64.5	42.4	10.8
<i>Favia fava</i> ?	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
<i>Favia lizardensis</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	5.5	2.0	0.0
<i>Leptastrea pruinosa</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
<i>Cyphastrea japonica</i>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	1.3	0.0	0.0
全被覆率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.4	84.8	89.1	72.6
全種数	0	0	0	0	0	0	0	9	7	4	6

付表4. 宍岐の造礁サンゴ出現種

科	種	江口・福田(1972)	本研究
Acroporidae	<i>Montipora mollis</i>		+
	<i>Acropora tumida</i>	+	+
	<i>Acropora pruinosa</i>		+
Poritidae	<i>Porites australiensis</i>	+	
	<i>Goniopora lobata</i>	+	
	<i>Goniopora stokes</i>		+
	<i>Goniopora sp.</i>		
Siderastreidae	<i>Alveopora japonica</i>	+	+
Fungiidae	<i>Siderastrea monile</i>	+	
	<i>Lithophyllon undulatum</i>	+	+
Pectiniidae	<i>Lithophyllon lobata</i>		+
	<i>Echinophyllia aspera</i>	+	+
	<i>Echinophyllia echinata</i>		+
	<i>Echinophyllia patula</i>		+
	<i>Pectinia lactuca</i>	+	+
Mussidae	<i>Pectinia (Physophyllia) ayleni</i>		+
	<i>Acanthasterea echinata</i>	+	+
	<i>Acanthasterea hemprichii</i>		+
	<i>Cynarina lacrymalis</i>	+	
Merulinidae	<i>Hydnophora exesa</i>	+	+
	<i>Caulastrea tumida</i>	+	+
	<i>Favia pallida</i>		+
	<i>Favia speciosa</i>	+	+
	<i>Favia fava</i>		+
	<i>Favia lizardensis</i> ?		+
	<i>Favia cf. rotumana</i>		+
	<i>Favia veroni</i>		+
	<i>Favites abdita</i>	+	
	<i>Favites russelli</i>		+
Faviidae	<i>Platygyra lamellina</i>	+	
	<i>Platygyra contorta</i>	+	+
	<i>Goniastrea australensis</i>		+
	<i>Goniastrea pectinata</i>	+	
	<i>Qulastrea crispata</i>		+
	<i>Plesiastrea versipora</i>	+	+
	<i>Leptastrea pruinosa</i>		+
	<i>Cyphastrea serailia</i>	+	+
	<i>Cyphastrea japonica</i>	+	+
	Dendrophylliidae	<i>Turbinaria peltata</i>	+
		22属39種	19属22種
			23属31種

参考資料 1⁻⁷ 補足情報(6-2-2 日本海)

付表5. 対馬の造礁サンゴ出現種

科	種	江口(1973)	本研究	
Astrocoeniidae	<i>Stylocoeniella guentheri</i>	+		
Acroporidae	<i>Acropora tumida</i>	+	+	
Poritidae	<i>Porites lichen</i>	+		
	<i>Porites lutea</i>	+		
	<i>Porites lobata</i>	+		
	<i>Goniopora lobata</i>	+	+	
	<i>Alveopora japonica</i>	+		
	<i>Alveopora verrilliana</i>	+		
Siderastreidae	<i>Psamocora profundacella</i>	+		
	<i>Coscinaraea</i> sp.	+		
Fungiidae	<i>Lithophyllon undulatum</i>	+	+	
	<i>Echinophyllia aspera</i>	+	+	
Pectiniidae	<i>Oxypora lacera</i>		+	
	<i>Pectinia lactuca</i>	+	+	
Mussidae	<i>Cynarina lacrymaris</i>	+		
Merulinidae	<i>Hydnophora exesa</i>	+	+	
	<i>Caulastrea tumida</i>	+	+	
	<i>Favia pallida</i>	+	+	
	<i>Favia speciosa</i>	+	+	
	<i>Favia fавus</i>		+	
	<i>Favia veroni</i>		+	
	<i>Favia lizardensis</i>		+	
	<i>Favia</i> sp.		+	
	<i>Favites abdita</i>	+	+	
	<i>Favites russelli</i>		+	
	Faviidae	<i>Platygyra lamellina</i>	+	
		<i>Platygyra contorta</i>	+	+
		<i>Goniastrea australensis</i>		+
		<i>Oulastrea crispata</i>		+
		<i>Plesiastrea versipora</i>	+	+
		<i>Leptastrea purpurea</i>	+	+
<i>Leptastrea pruinosa</i>			+	
<i>Cyphastrea japonica</i>			+	
<i>Cyphastrea microphthalma</i>			+	
<i>Cyphastrea chalcidicum</i>			+	
<i>Cyphastrea serailia</i>	+			
Dendrophylliidae	<i>Turbinaria peltata</i>	+		
	<i>Turbinaria mesenterina</i>	+		
23属38種		20属26種	16属25種	

付表6. 対馬における造礁サンゴの被覆率

【瀬ノ浦】

岸からの距離(m)	0	5	10	15	20	25	30
水深(m)	0.4	0.9	2.3	1.3	1.5	4.5	6.2
<i>Lithophyllon undulatum</i>	0	0	9	0	6	0	0
<i>Echinophyllia aspera</i>	0	0	26	0	12	14	0
<i>Pectinia lactuca</i>	0	0	0	0	8	3	0
<i>Caulastrea tumida</i>	0	6	2	7	5	0	0
<i>Favia speciosa</i>	0	3	24	0	16	0	0
<i>Favia fava</i>	0	0	0	1	0	2	0
<i>Favia</i> sp.	0	0	0	0	2	0	0
<i>Favites abdita</i>	0	0	0	0	2	0	0
<i>Oulastrea crispata</i>	0	0	0	0	0	0	0
<i>Cyphastrea microphthalma</i>	0	0	0	1	0	0	0
全被覆率(%)	0	9	61	9	51	19	0
全種数	0	2	4	4	7	3	0

【加世浦東】

岸からの距離(m)	0	5	10	15	20	25	30
水深(m)	0.6	1.2	2	2.7	3.6	5.1	7.1
<i>Echinophyllia aspera</i>	0	0	0	17	11	15	0
<i>Favia pallida</i>	0	0	0	0	14	0	0
<i>Favia speciosa</i>	0	0	34	22	8	0	0
<i>Oulastrea crispata</i>	0	0	0	0	0	0	0
<i>Cyphastrea chalcidicum</i>	0	0	0	5	0	0	0
全被覆率(%)	0	0	34	44	33	15	0
全種数	0	1	1	3	3	1	0

【加世浦西】

岸からの距離(m)	0	5	10	15	20	25	30
水深(m)	0.3	1	1.8	2.6	3.7	5.1	7.7
<i>Echinophyllia aspera</i>	0	0	3	5	30	0	0
<i>Favia pallida</i>	0	0	5	0	0	0	0
<i>Favia speciosa</i>	0	0	29	47	9	0	0
<i>Favites abdita</i>	0	0	3	0	0	0	0
<i>Oulastrea crispata</i>	0	1	0	0	0	0	0
<i>Cyphastrea chalcidicum</i>	0	5	0	0	0	0	0
全被覆率(%)	0	6	40	52	39	0	0
全種数	0	2	5	2	3	0	0